



公明党議員団

平山 英明

図書館の在り方

楽譜の蔵書が少ないと聞く。必要とする楽譜は冊子の一部であるため、特に子どもは図書館で借りることが多い。子ども向けの蔵書を増やすべきではないか。

子ども向けの楽譜を含め、利用者ニーズを踏まえ、配慮していきたい。

ヒロシマへの平和の旅

対象が区内の中学生8名程度とあるが、区立中学校は9校ある。区立中学校から1名ずつの選抜制とし、9名が望ましいのではないか。

参加者を9名とすることは可能であるが、区立中学校の生徒のみを対象とする等については、教育委員会とも相談し、決定したい。

インボイス制度の影響

新型コロナウイルスや物価高騰で苦境にあえぐ事業者にとどめをさすインボイス制度は、区内の福祉作業所などへも影響を及ぼすのではないか。

今後、関係機関を通じて状況把握に努め、必要に応じて学習会を検討していく。

学校給食費の無償化

区が負担した場合の、約



立憲民主党・無所属議員団

山本 たかし

新型コロナウイルスに係る国民健康保険料の減免

令和4年度は国費で財政支援の対象になるということだが、区民に寄り添う姿勢で、申請受付を延長するべきではないか。

今後の検討とする。

コロナ減免の対象となつた場合は、区財政への負担がかからない。区民の負担軽減にも寄与できることから、対象者が確定した段階で個別通知等により周知すべきではないか。

現時点で対象者を把握していないが、今後検討する。

学校給食食材費の無償化

臨時的な緊急物価対策として、給食食材費単年度無償化を検討する段階にきているのではないか。

義務教育であることから、本来国が負担すべきものと考えられている。

旧中野刑務所正門の保存活用

哲学堂公園の保存活用計画のように、専門家とともに区民委員を公募しての検討委員会を設置も、検討していく必要があるのではないか。

設置の在り方については、今後検討していきたい。

閉校した学校等の有効活用

学校ごとに所管がばらばらで、暫定の貸出状況も異なっている。施設ごとにきちんと精査をして暫定利用について検討する必要があると考

えている。物価高騰等の状況下における、臨時的な子育て世帯への支援として、給付金を支給することとした。

子育てしやすい住まいの供給の促進に取り組んでいく。



自由民主党議員団

若林 しげお

地域活動と地域経済の好循環

コロナ禍において、在宅勤務や早期帰宅が増えることで、自宅近くの飲食店や商店街に行く機会が増え、交流の場として、飲食店で地域の方々や活動に触れる機会も増えてくると考える。区商店街への誘導に大きく寄与する、キャッシュレス型地域通貨を導入すべきではないか。

区内の経済循環を拡大していくためには、区内消費の誘導に向けた、デジタル地域通貨の検討が必要と認識している。先行自治体の事例を参考にしつつ、デジタル地域通貨の在り方を検討していきたいと考えている。

新型コロナウイルスを理由に地域行事やイベントが行われなくなっている。地域活動にテコ入れするのは、今しかないと考えている。地域活動にポイントを付与することについて、区の見解は。

地域活動ポイントの導入については、現在のところ考えていない。

地域通貨を導入すれば、商店街のイベントに地域通貨や地域ポイントを付与するシステムも確立できるのでは。デジタル地域通貨の様々な活用場面を想定しながら、検討する必要があると考える。

区の地域通貨導入が出遅れていることが、幸いしていると感じる。様々な自治体の

「子育て先進区の実現」を目指す区として、できる限り各地区の活動を均一化し、区内の子どもたちが活動できる機会を平等につくり、地区委員会が活動しやすい支援をするべきではないか。

地域の子どものための健全育成のため、地区委員会の活動は、重要なものと認識している。各地区委員会のニーズの把握に努め、必要な支援を引き続き行っていきたい。

太陽光パネルの設置助成

従来のシリコン系太陽電池のパネル設置は、都心部では難しいと考える。シリコン系の4分の1程度の価格で設置できる、ペロブスカイト太陽電池の太陽光パネルについて、区の認識は。

ペロブスカイト太陽電池の研究が進んでいることは、区として把握している。都では、新技術の実用化を促進する動きもあると聞いている。

有害物質を含むシリコン系太陽電池は、廃棄処分も問題になる。設置助成は時期尚早ではないか。

補助を実施する中で、ペロブスカイト太陽電池等の動向も注視していきたい。



子育てしやすい住まいの供給の促進に取り組んでいく。

よくやみガイドブック

ルビが振られていないが、ルビを振るなどやさしい日本語での表記にできないか。

遺族が迷わず漏れなく必要な手続きを行えるよう、分かりやすく、改善していく。

新庁舎移転に合わせ、独自算でグレードアップしたものを製作してはどうか。

実施状況を勘案しながら、今後のことは検討していく。

青少年育成地区委員会

青少年育成地区委員会の活動の一つであるミニリーダー講習会について、そのネーミングを含め、位置づけ、活動をしっかりと示し、新たに入会しやすい仕組みを作るべきと考えるが、区の見解は。

区は意見交換会や研修会などを実施し、地区委員会の活動を継続して支援していきたいと考えている。

地区委員会の活動や、ミニリーダーの入会促進を区HPなどに掲載するべきではないか。

活動について広く周知できるように、HPへの掲載などを検討していく。

中野区議会では、
ペーパーレス化等の
推進のため、
タブレット型携帯端末等を
使用しています。